

宮古市「復興に向けた計画づくりに関するアンケート調査」結果 【重茂地域版】

1. 調査概要及び回収状況

(1) 調査概要

調査方法：郵送による配布、回収
 調査期間：【発送】平成23年7月8日 【回答の返送締切】平成23年7月26日
 対象者：被災地域及びその周辺の各世帯
 配布数：【市全体】6,644世帯 【重茂地域】219世帯

(2) 回収状況(平成23年8月16日時点)

回収数：【市全体】3,200世帯 【重茂地域】83世帯
 回収率：【市全体】48.2% 【重茂地域】37.9%

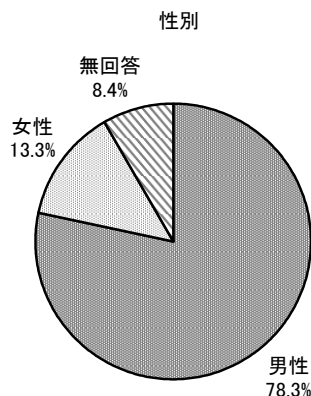
2. 集計結果(重茂地域分)

(1) 回答者の属性

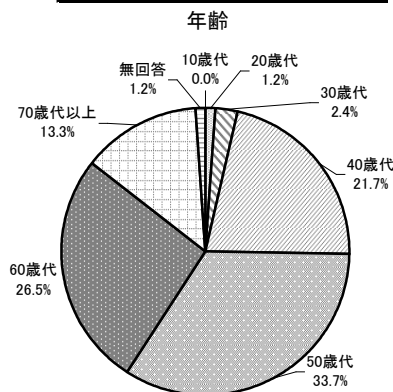
問1：世帯の代表の方についてお聞きします。
 それぞれ当てはまる番号を1つ選び○を付けてください。

- 世帯の代表の方にお答えいただいたことにより、「男性」、「50歳代以上」の回答者が多くなっています。また、二世帯+三世帯世帯が70%以上を占めています。

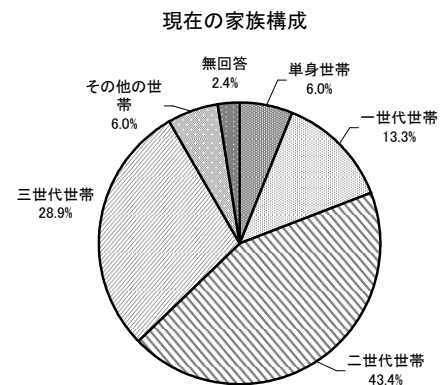
	重茂	
	回答数	割合
男性	65	78.3%
女性	11	13.3%
無回答	7	8.4%
計	83	100.0%



	重茂	
	回答数	割合
10歳代	0	0.0%
20歳代	1	1.2%
30歳代	2	2.4%
40歳代	18	21.7%
50歳代	28	33.7%
60歳代	22	26.5%
70歳代以上	11	13.3%
無回答	1	1.2%
計	83	100.0%



	重茂	
	回答数	割合
単身世帯	5	6.0%
一世帯世帯	11	13.3%
二世帯世帯	36	43.4%
三世帯世帯	24	28.9%
その他の世帯	5	6.0%
無回答	2	2.4%
計	83	100.0%



- 現在のお住まいが震災前とは別の方においては、「仮設住宅」の割合が最も高く、次いで「民間賃貸住宅」が多くなっています。

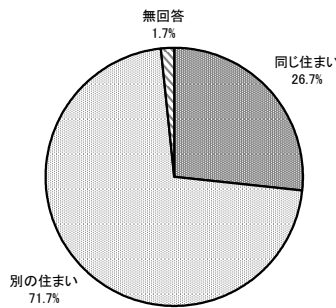
現在の住まい

	重茂	
	回答数	割合
同じ住まい	16	26.7%
別の住まい	43	71.7%
無回答	1	1.7%
計	60	100.0%

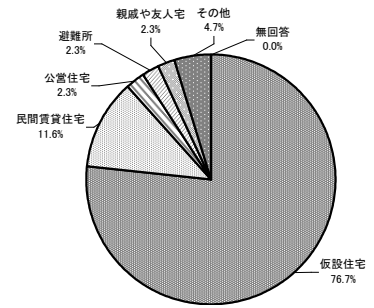
※住宅に被害のない23人を除く

	重茂	
	回答数	割合
仮設住宅	33	76.7%
民間賃貸住宅	5	11.6%
公営住宅	1	2.3%
避難所	1	2.3%
親戚や友人宅	1	2.3%
その他	2	4.7%
無回答	0	0.0%
計	43	100.0%

現在の住まい



別の住まい(内訳)



- 震災前に仕事に就いていた方の職業は約75%が「漁業」で、職場についても約69%が「重茂」となっています。
- 震災前に仕事に就いていた方のうち、震災後に何らかの変化（休業、廃業、退職、失業）があったと回答した方は、約70%となっています。

震災前の仕事

	重茂	
	回答数	割合
農林業	0	0.0%
漁業	63	75.9%
製造業・建設業	3	3.6%
販売・サービス業	4	4.8%
公務員・団体職員	4	4.8%
主婦(夫)	1	1.2%
学生	0	0.0%
無職	3	3.6%
その他	4	4.8%
無回答	1	1.2%
計	83	100.0%

震災前の職場の場所

	重茂	
	回答数	割合
宮古	3	3.8%
愛宕・光岸地	0	0.0%
鍬ヶ崎	1	1.3%
藤原・磯鷄	0	0.0%
高浜	0	0.0%
金浜	0	0.0%
崎山	0	0.0%
津軽石	0	0.0%
赤前	0	0.0%
重茂	55	69.6%
田老	0	0.0%
その他宮古市	0	0.0%
県内	3	3.8%
県外	0	0.0%
無回答	17	21.5%
計	79	100.0%

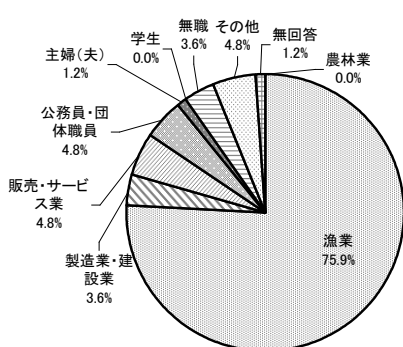
※[主婦(夫)、無職]を除く

震災後の仕事の変化

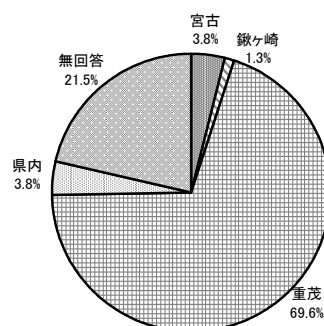
	重茂	
	回答数	割合
休業	35	44.3%
廃業	12	15.2%
退職	3	3.8%
失業	5	6.3%
変化なし	8	10.1%
その他	6	7.6%
無回答	10	12.7%
計	79	100.0%

※[主婦(夫)、無職]を除く

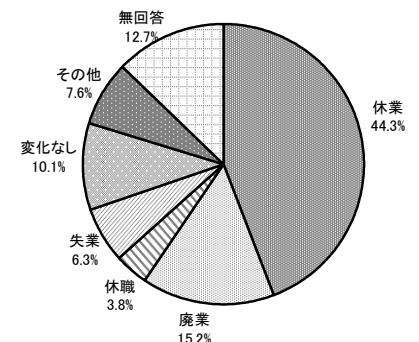
震災前の仕事



震災前の職場の場所



震災後の仕事の変化



(2) 震災前の住まい、今後の住まいについて

問2：震災前のお住まいについてお聞きします。

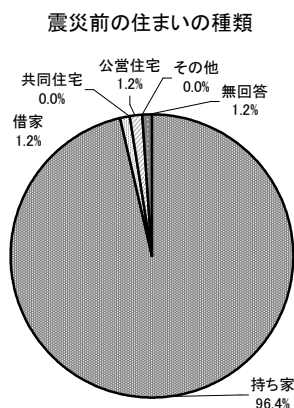
それぞれ当てはまる番号を1つ選び○を付けてください。

問3：今後の住まいをどのようにお考えですか。

- 重茂地域では、震災前の住まいのほとんどが「持ち家」となっています。
- 住まいの被害については、「流出」または「全壊」の被害を受けている方が、回答者の半数以上を占めています。
- 今後の住みたい場所については、「近くの高台など」に住みたいと考えている方が63.3%と高い割合を占めています。(4ページ)
- 住みたい場所の理由は「離れたくない」「早く住宅確保」「仕事場が近い」が多くなっています。(4ページ)
- 今後の住まいとしては、約半数が「新築」を、次いで「補修」を希望しています。(4ページ)
- 住みたい場所と考えている住まいをクロス集計すると、「近くの高台」で「新築」が最も多く、約48%となっています。(4ページ)

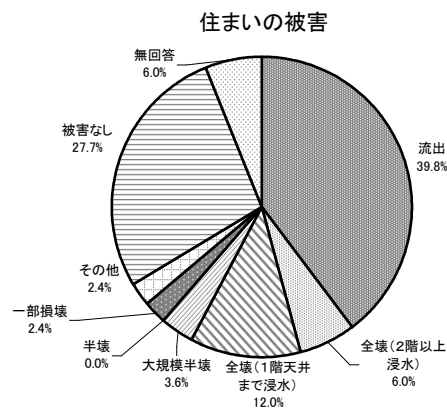
震災前の住まいの種類

	重茂	
	回答数	割合
持ち家	80	96.4%
借家	1	1.2%
共同住宅	0	0.0%
公営住宅	1	1.2%
その他	0	0.0%
無回答	1	1.2%
計	83	100.0%



住まいの被害

	重茂	
	回答数	割合
流出	33	39.8%
全壊(2階以上浸水)	5	6.0%
全壊(1階天井まで浸水)	10	12.0%
大規模半壊	3	3.6%
半壊	0	0.0%
一部損壊	2	2.4%
その他	2	2.4%
被害なし	23	27.7%
無回答	5	6.0%
計	83	100.0%



住みたい場所

	重茂	
	回答数	割合
同じ場所	10	16.7%
近くの高台など	38	63.3%
市内	3	5.0%
市外	2	3.3%
その他	1	1.7%
無回答	6	10.0%
計	60	100.0%

※「被害なし」を除く

理由(複数回答)

	重茂	
	回答数	割合
離れたくない	40	66.7%
仕事場が近い	24	40.0%
生活に便利	15	25.0%
津波被害を受けたくない	23	38.3%
近所づきあい	10	16.7%
子どもの教育環境	0	0.0%
早く住宅確保	27	45.0%
費用がかかる	20	33.3%
その他	2	3.3%
無回答	3	5.0%
計	100	

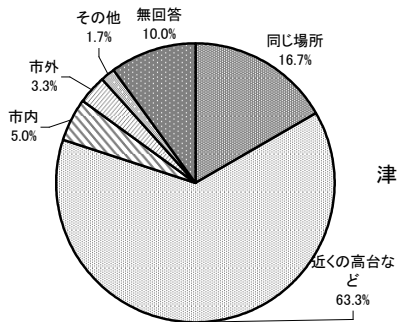
※「被害なし」を除く

考えている住まい

	重茂	
	回答数	割合
既に補修	4	6.7%
補修予定	6	10.0%
新築	32	53.3%
民間賃貸	0	0.0%
公営住宅	1	1.7%
未定	6	10.0%
その他	2	3.3%
無回答	9	15.0%
計	60	100.0%

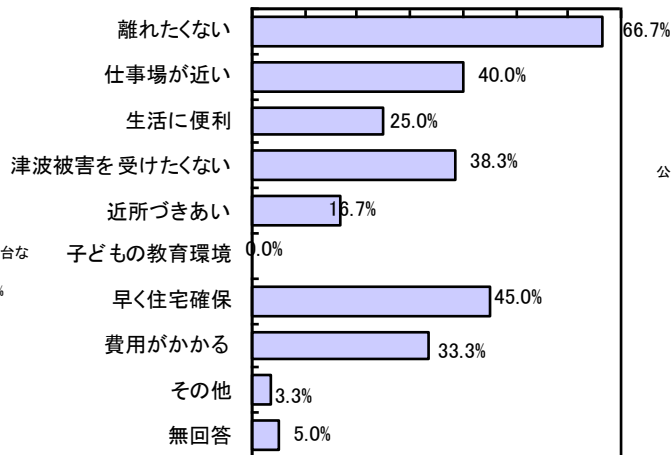
※「被害なし」を除く

住みたい場所

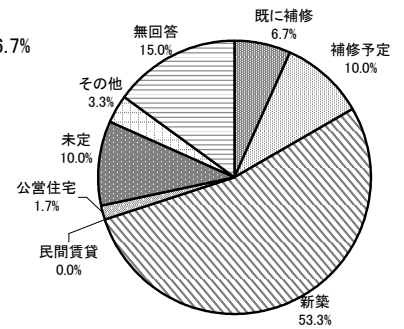


理由(複数回答)

0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0% 60.0% 70.0%



考えている住まい



住みたい場所×考えている住まいのクロス

住みたい	考えている住まい								
	既に補修	補修予定	新築	民間賃貸	公営住宅	未定	その他	無回答	計
同じ場所	3	2	1			2	1	1	10
	5.0%	3.3%	1.7%			3.3%	1.7%	1.7%	16.7%
近くの高台など	1	2	29			3		3	38
	1.7%	3.3%	48.3%			5.0%		5.0%	63.3%
市内			1		1			1	3
			1.7%		1.7%			1.7%	5.0%
市外						1	1		2
						1.7%	1.7%		3.3%
その他			1						1
			1.7%						1.7%
無回答		2						4	6
		3.3%						6.7%	10.0%
計	4	6	32		1	6	2	9	60
	6.7%	10.0%	53.3%		1.7%	10.0%	3.3%	15.0%	100.0%

(3) 今後の不安、備えについて

問4：これからの暮らしにおいて、不安なことについてお聞かせください。

問5：あなた自身で、今回の震災をきっかけに今後どのような備えをしたいと思いますか。

- 今後の不安としては、「生活の自立」が約76%と多く、次いで「余震・二次災害」、「住宅確保」、「仕事確保」となっています。
- 今後の備えとしては、「家族で避難場所や避難ルートを話し合う」が最も高いです。

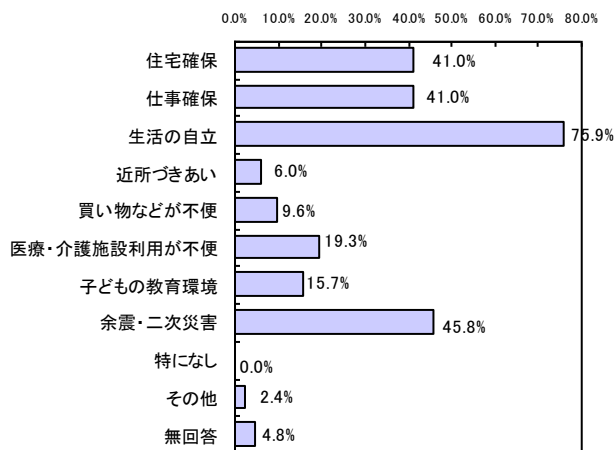
これからの不安(複数回答)

	重茂	
	回答数	割合
住宅確保	34	41.0%
仕事確保	34	41.0%
生活の自立	63	75.9%
近所づきあい	5	6.0%
買い物などが不便	8	9.6%
医療・介護施設利用が不便	16	19.3%
子どもの教育環境	13	15.7%
余震・二次災害	38	45.8%
特になし	0	0.0%
その他	2	2.4%
無回答	4	4.8%
計	217	

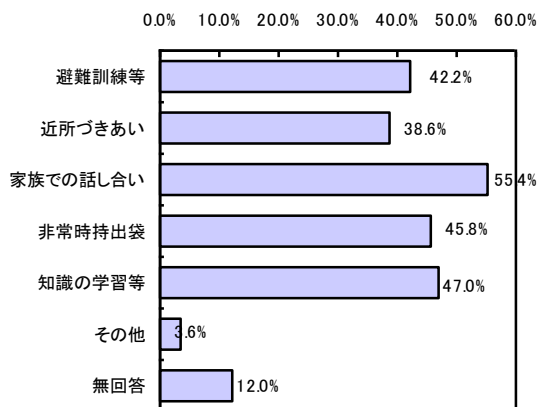
今後の備え(複数回答)

	重茂	
	回答数	割合
避難訓練等	35	42.2%
近所づきあい	32	38.6%
家族での話し合い	46	55.4%
非常時持出袋	38	45.8%
知識の学習等	39	47.0%
その他	3	3.6%
無回答	10	12.0%
計	203	

これからの不安(複数回答)



今後の備え(複数回答)



(4) 復興に向けた今後の施策について

問6：現在、宮古市では復興に向けた計画づくりに向け、次の3つの分野で施策の検討を進めています。「すまいと暮らしの再建」「産業・経済復興」「安全な地域づくり」それぞれの分野について、大切であると思うことは何ですか。特に、当てはまるもの3つまでの番号を記入してください。

- 「すまいと暮らしの再建」に関しては、回答者の約68%が「経済的な支援など生活再建に向けた取り組み」、約49%が「個人住宅の再建支援や公営住宅等の整備など住まいの確保に向けた取り組み」を選択しています。
- 「産業・経済復興」に関しては、「(施設の復旧、生産者支援、魚市場整備等の) 漁業振興に向けた取り組み」が約65%と高い割合となっており、次いで「農林業振興」「港湾振興」

となっています。

- 「安全な地域づくり」に関して、「(道路や公共交通の再整備など災害に強い) 交通網の形成に向けた取り組み」、「(道路、河川や漁港など) 公共土木施設の早期復旧に向けた取り組み」が約60%で多く、次いで「防潮堤や湾口防波堤等のハード整備に向けた取り組み」となっています。

すまいと暮らしの再建(複数回答)

	重茂	
	回答数	割合
経済的な支援等	57	68.7%
住宅再建支援	41	49.4%
健康の維持	6	7.2%
医療体制の確保	22	26.5%
児童・生徒の心のケア	6	7.2%
学校教育環境の整備	19	22.9%
生涯学習等の環境整備	2	2.4%
雇用の場の確保	25	30.1%
地域コミュニティ	9	10.8%
無回答	10	12.0%
計	197	

産業・経済復興(複数回答)

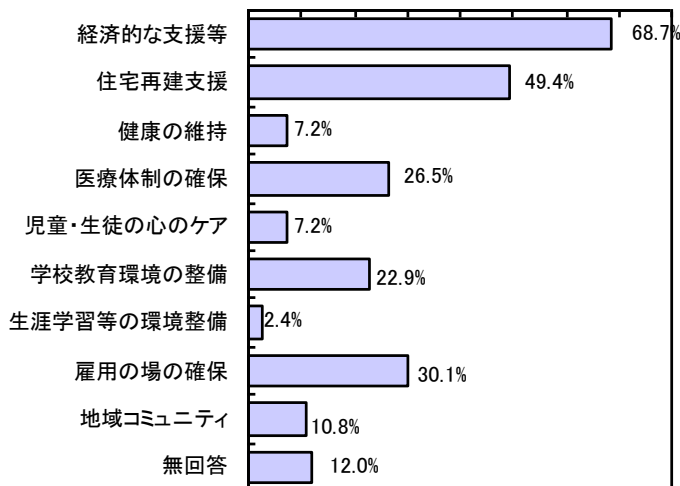
	重茂	
	回答数	割合
農林業振興	27	32.5%
漁業振興	54	65.1%
製造業振興	17	20.5%
商業・サービス業振興	5	6.0%
観光振興	2	2.4%
港湾振興	28	33.7%
産業創出	22	26.5%
事業創出	7	8.4%
無回答	20	24.1%
計	182	

安全な地域づくり(複数回答)

	重茂	
	回答数	割合
防波堤等	47	56.6%
交通網整備	50	60.2%
土木施設復旧	50	60.2%
地域防災力	10	12.0%
情報伝達・避難計画	20	24.1%
災害記憶継承	1	1.2%
自然エネルギー	9	10.8%
無回答	14	16.9%
計	201	

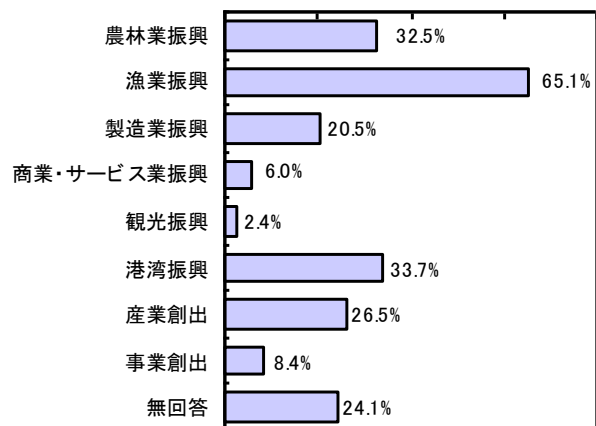
すまいと暮らしの再建(複数回答)

0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0% 60.0% 70.0% 80.0%



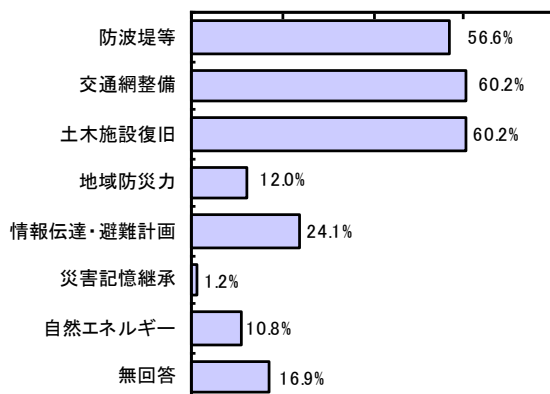
産業・経済復興(複数回答)

0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0%



安全な地域づくり(複数回答)

0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0%



■ 主な自由意見（原文要約）

- ・ 「住まいとくらしの再建」については、「移転した場合の被災した土地の処分」、「居住継続のための安全性確保」、「二重ローン問題」、「生活、就業支援」についての意見があります。
- ・ 「産業・経済復興について」では、「漁港、漁業施設の早期復旧」が多くなっています。
- ・ 「安全な地域づくり」については、「部落全体での移転」、「道路、公園、堤防整備」、「交通網整備」があげられています。
- ・ その他としては、「早期の面談」「復興・復旧のスピード化」などが上げられています。

住まいとくらしの再建について	
1	新たな土地確保に動いているが、市、県、国などで前の土地をどうにかしてほしい。
2	これから家を建てなければならない。せめて就職出来るようにお願いしたい。
3	二重ローンで不安。被災にあった土地を買い上げてくれるとか、良い方向に考えて。
4	残された住宅、道路側の石垣など、だいぶ傷みが激しく、直して頂きたい。
5	早く新築したいが、まだローンが残っているのでどうにかしてもらいたい。
6	安心して暮らす家と仕事がほしい。
7	同じ地域の人達と、また同じ地域で生活できたらいい。
8	自分の気持としては、道路を高く作り堤防をプラスして同じ地区に皆様帰ってくることを。
9	この災害で収入も減り、先行きはかなり不安である。なんとか助成の手を考えてほしい。
10	作業小屋、漁具など、収入源になるものが流された。それに対する義援金など一切なく、家があっても収入が減れば生活できない。なんらかの援助が欲しいと思う。
産業・経済復興について	
1	若布加工施設及び昆布乾燥施設、ウニ工場等の再建支援をお願いしたい。
2	プロである漁師たちが主体となれるようにもって行くことが必要だと思う。
3	漁港や生産施設は直ちに復旧してほしい。
4	山を切り崩し、低地の埋め立てとし工業用地を造成する。
安全な地域づくりについて	
1	移転先について個人ではなく部落で移りたい。行政のお力を頂きたいと思う。
2	高台への宅地の整備、以前の土地の買いあげ
3	遺跡の調査を簡単をお願いしたい。
4	道路を広くし、公園整備をお願いしたい。
5	堤防を高くすれば今までのところに家を建てても大丈夫なのではないか。
6	道路の整備を早くしてほしい。
7	重茂より南地区の道路を、特に姉吉より千鶏まではたいへんな道である。
8	安全性の高い道路。港と岸壁、冷凍加工場、一緒に働く場所をお願いしたい。
9	災害発生時後の連絡網及び交通網の充実。今回の震災では、完全に陸の孤島となった。
10	道路の復旧（堀内～白浜周辺）、大型車（ダンプ）の往来も多くとにかく不便。
11	山道の幅を広くして直してほしい。次の津波の事も考えて、早く防波堤を作してほしい。
12	復興計画が遅い。港道路を早く。水道も。
13	もう1本県道以外に別ルートで作ってほしい。一週間以上も陸の孤島にならないように。
14	防潮堤や湾口防波堤等が一日でも早く復興するようにお願いしたい。
15	防潮堤を高くして安全に住める宮古にしてほしい。
16	防災無線がこわれ、地震、宮古市の事がわからないので、早く復旧してもらいたい。
17	早く道路、橋、防潮堤を復旧してもらいたい。前の場所に建てられるかわかればと思う。
18	地震や津波に強い町づくりを計画、実行してほしい。
19	高台移転を強力に進め、新居を求めやすい環境づくりをする。
25	重茂半島線のトンネル化。
その他	
1	個人々いろいろな問題を抱えていますので現地での面談を早くお願いしたい。
2	宮古港を整備して、外来船を1隻でも多く呼べるようにする。
3	復興計画案をもっと早く出してほしい。
4	被害地域の高台あるいは安全地域への集団移転について、10月までには納得できる案を。
5	養殖ができずにををしてよいかかわからず。
6	陸の孤島ナシ。通信皆無ナシ。
7	仮設住宅からでたい人だっている。民間のアパートを市がみつけて入らせるなどする。
8	自然をなめないでほしい。地元の話の話を聞いてほしい。机の上で計算しないでほしい。堤防より高い道路を作してほしい。
9	復旧、復興のスピード化が必要だと思われる。

MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing, contained within a rounded rectangular border.